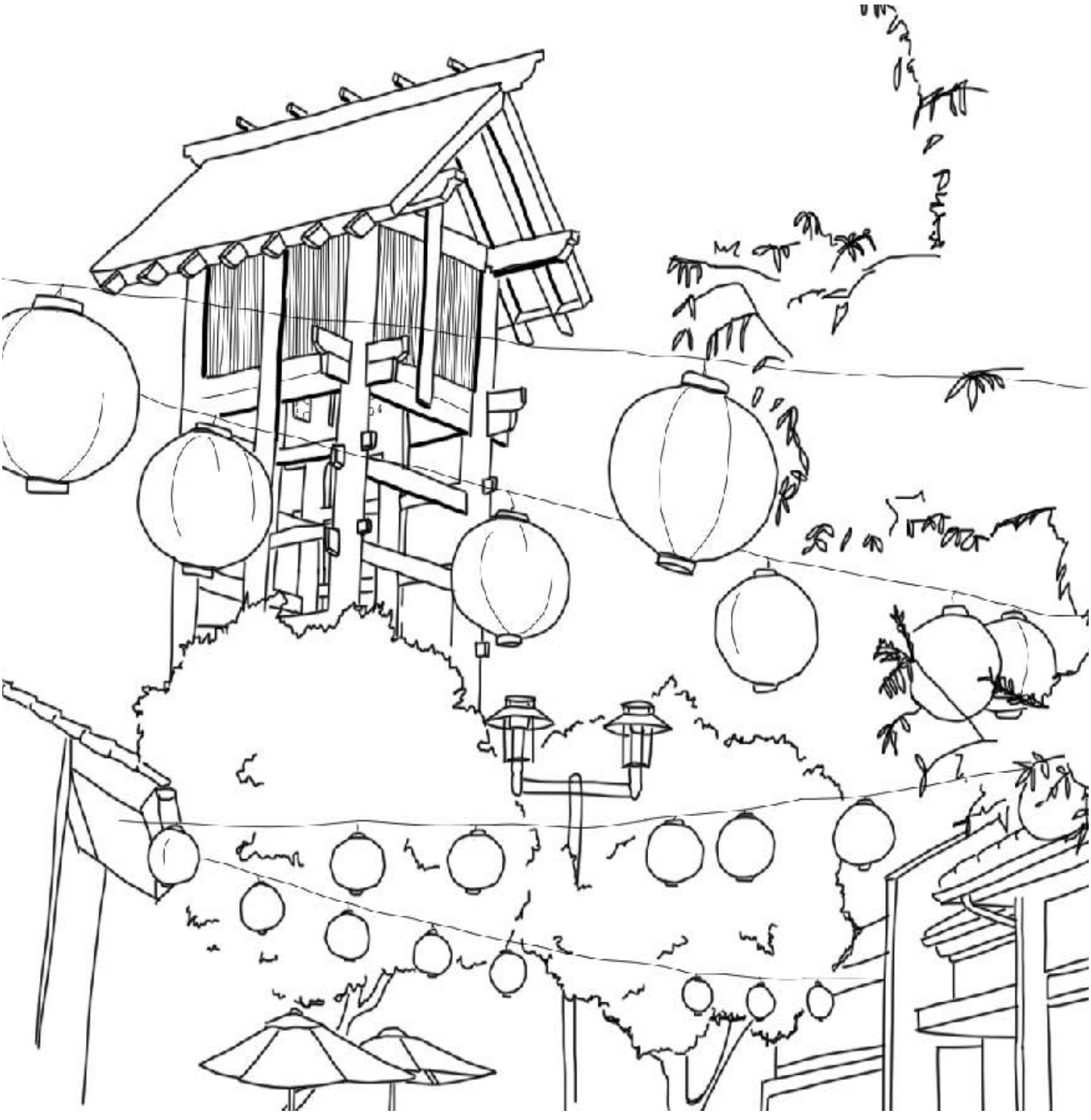
スティングク
ロースホーム：

リトル東京カラーリングブック



アーティストからのメッセージ

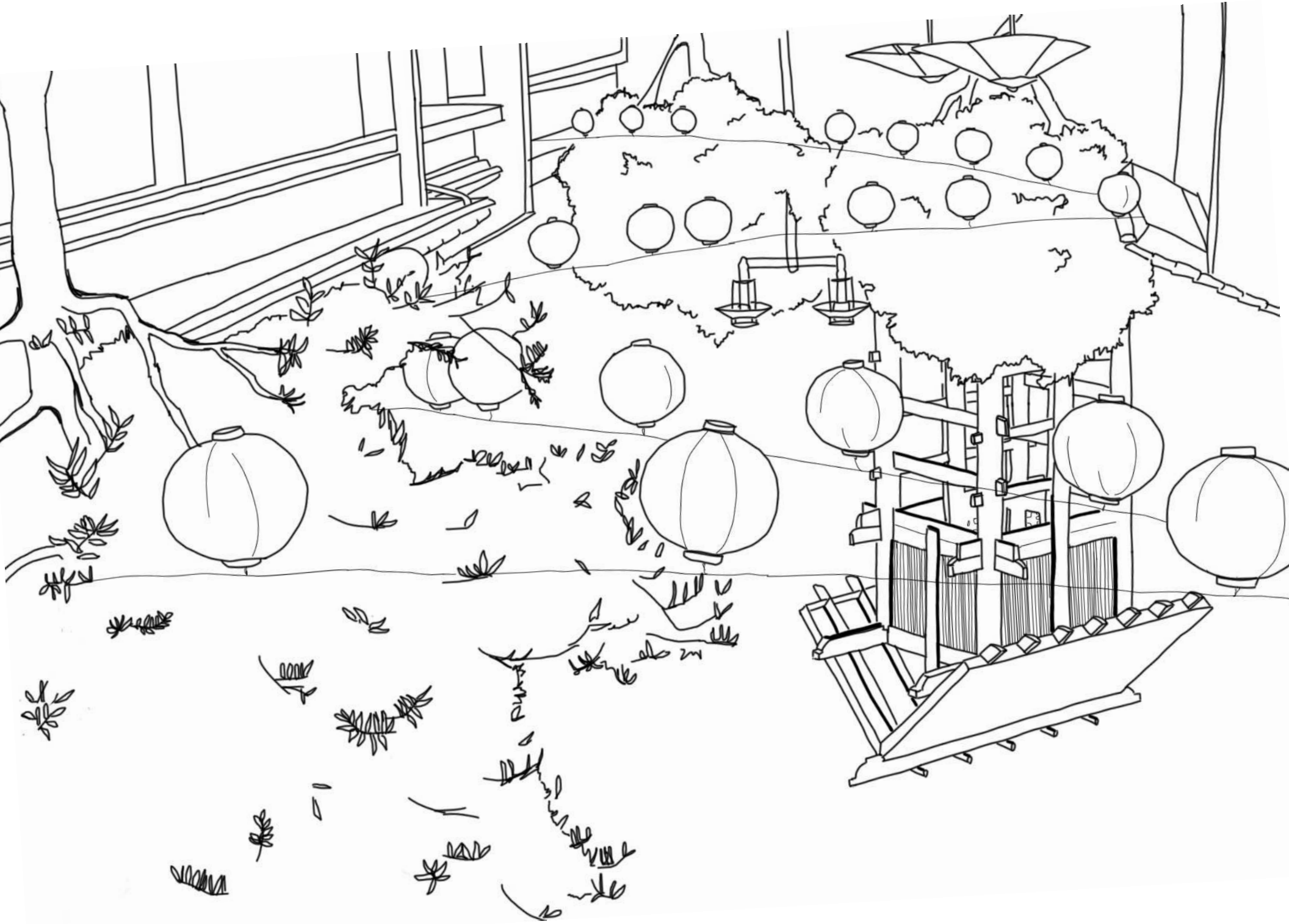
Covid19パンデミックによって家にいるとこが多くなりました。　このカラーリングブックが皆さんに少しでものリラックスと落ち着きを提供できることを願っています。　リトル東京在住の方、または遠くに離れている方、どなたにもこのイラストレーションが少しでもこの不確かな時期に心の平穏を提供できますように。　このカラーリングブックはリトル東京サービスセンターでクリエーティブストラテジストとして私の最後のプロジェクトであり、リトル東京とリトル東京サービスセンターへのラブレターです。ぜひリトル東京のスナップショットを楽しんでください。　各イラストの詳細は最後のページに記載してあります。

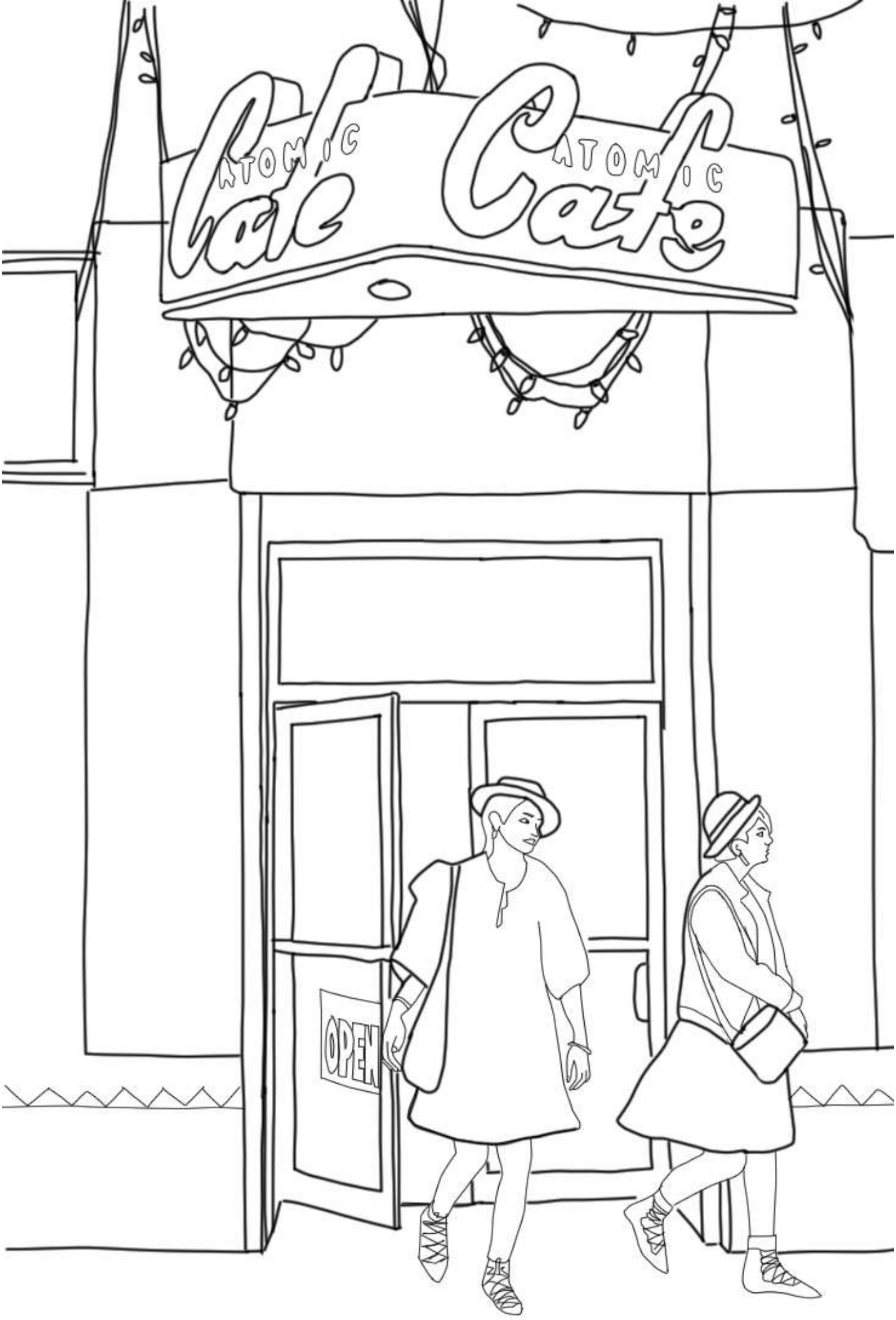
Erica Rawles エリカ　ローウズ
Creative Strategist / Embedded Artist
Little Tokyo Service Center

リトル東京サービスセンターは福祉サービス及び地域開発団体であり、文化的配慮した福祉サービスの提供、家族及び個々の生活の向上、住宅提供を通じて地域社会の強化、そして日系人のヘリテージを守って行くことをミッションとしています。

+LAB
A Project of
Little Tokyo Service Center

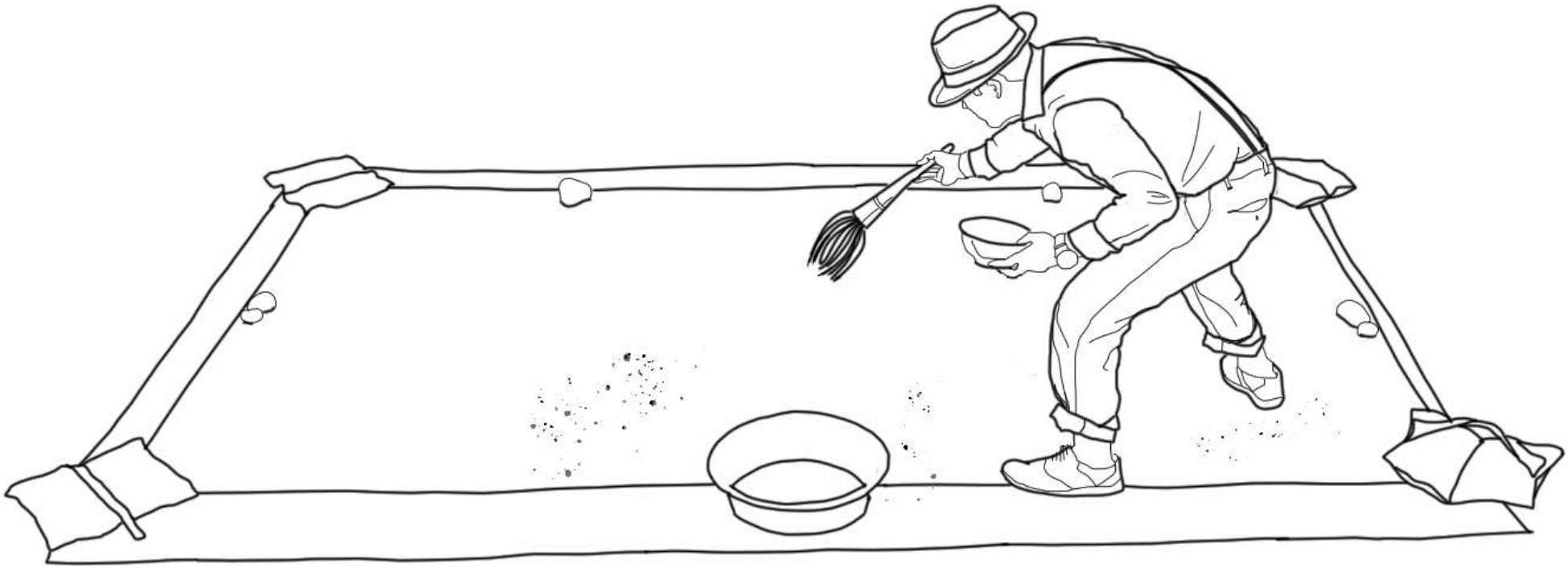
Little Tokyo Service Center
231 E. Third St., Suite G-106
Los Angeles, CA 90013
213-473-3030 | ltsc.org




ATOMIC
Cafe
ATOMIC
Cafe
OPEN

LA BANDERA
やった
42
DULCE

341 FSN
SAVE LITTLE TOKYO



MANZANAR, TULE LAKE, HEART MOUNTAIN, TOPAZ, POSTON
AMACHE, GILA RIVER, JEROME, MINIDOKA, ROHWER
NOT FORGOTTEN

イラストの説明

リトル東京のジャパニーズビレッジプラザ

Fugetsudoの三代目店主、Brian Kito。 Fugetsudoは1903年に開業しリトル東京で最も古いビジネです。

アトミック・カフェはダイナーかつパンクロックのライブハウスとして、1989年に閉店するまで422イースト・ファースト・ストリートにありました。この絵は1983年にMike Muraseが撮影した写真から描きました: 「アトミック・カフェは日系アメリカ人と「パンク」のたまり場として知られていました。アトミックは、ジュークボックスと、日系人の好むメニューを提供し日系人のみならず多くのひとに愛されました。何よりも、Atomic Nancyはこの場所を有名なレストランにしました。」

インリビンカルチャは、2018年にSustainable Little TokyoのWindows of Little Tokyoに選ばれた ジャード・山端 (Jared Yamahata) の絵です。この絵はCafe Dulceのウインドウに展示されました。

341ファーストストリートノース（FSN）の店先は、リトル東京の未来はわたしたちが決め模索するためのスペースでした。341FSNは、リトルトーキョーサービスセンターが所有および運営しており、たくさんのコミュニティメンバーが意見を出し合いました。

Suehiro Cafeのラーメンです、1972年にリトル東京で開業し最近オンラインデリバリーを始めました!

2018年+LAB アーティスト・イン・レジデンスとリトル東京の住人吉田邦治が書道ライブを行いました。[Rudy Espinozaの写真]。

JANMの広場での２０１９年６月のオクラホマ、フォート・シルに拘束されている移民の子供の待遇に対してのホワイトハウス向けの抗議運動の際のメイサです。　[Getty Images　写真デビッド・マクニュー]